

令和元年度
決算認定

改元ブームやラグビー日本代表の活躍に列島が沸いた一方、当町初の大雪特別警報や新型コロナウイルスへの対応など、新たな脅威にもさらされています。時代は「平成」から「令和」へ。重点分野「①地域の活性化 ②子ども育て環境の充実 ③安全・安心のまちづくり」の結果はいかに?

恒例の決算特集! 議会視点でお届けします。

はじまり 激動の 令和元年 進んだ「変革」は?

ピンチを
チャンスに

この事業を
評価



※(○○→○○)は
前年度との比較です

歳入 ふるさと納税
(寄附額504万円→542万円)

歳出 交通安全対策
(交通死亡事故ゼロ日数 1455日)
※2020.3.31現在

歳出 消防団詰所
(第1分団第4部 詰所の改築)

歳出 ノンステップバス
(小川町駅~小川パークヒル路線 3台導入)

歳出 ため池耐震点検
(6か所の点検を実施)

歳出 環状1号線
(工事進捗状況66%、令和5年度完成予定)

歳出 ラグビーワールドカップ
(中学3年生観戦者数 217人)

歳出 学校再編等審議会
(審議会8回開催。町長へ短期計画を答申)

歳出 小川町版ネウボラ事業
(必要に応じた支援プランを作成)

歳出 ふれあいプラザおがわ
(新規登録者数134人→178人)



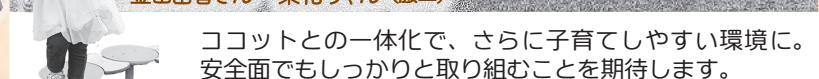
地域おこし協力隊
小川町の魅力向上のために活動する専門員



小川和紙後継者育成
新たに6人の
和紙職人が誕生



鶴巻公園
多世代交流の推進を図り、遊具が整備された



ココットに来たら、
ここで遊んで帰ります。
囲みがあって
小さな子供が安心して遊べるし、
本当に良かったです。
かなだゆか なのは
金田由香さん 菜花ちゃん(腰二)

ココットとの一体化で、さらに子育てしやすい環境に。
安全面でもしっかりと取り組むことを期待します。

安心♥



平成31年4月1日~令和2年3月31日に町が行った事業の評価と課題だよ!

一般会計 87億5344 万円 特別会計 74億2329 万円



公共施設
(新しい生活様式に対応した)
2月下旬以降、パトリア
トリリックの大ホールの使用禁止



再開を

カラオケ大会の再開を心待ちにしています。マスクの着用など、自助の努力による感染予防が何よりも大切ですね。
廣瀬 浩さん(池田)(左)
森 勝さん(池田)(右)

ここが
課題



旧上野台中学校

保守管理等の費用に366万円

統合が決定している東小川小学校も含めると、保守管理費は膨らむ一方。廃校から9年、早急な対策が待たれる。

歳入 自主財源の減収
(町税37億381万円
→36億6221万円)

歳出 埼玉伝統工芸協会の委託料
(指定管理料4200万円。
4期連続の赤字)

歳出 学校給食センター
(施設の老朽化により、献立に制限)



「平成24年度以降の
町の財政状況は?」
町HPで閲覧できます

監査委員の意見(抜粋) 限られた財源で最大の効果を

一般会計における本年度の実質単年度収支は1億9817万円減で、9年連続の赤字となっている。これを補うため、財政調整基金は前年度に比べ89.3%増の2億5472万円を取り崩した財政運営となっている。これが想定される。長期間を要することが想定される。地域経済の回復には、感染症の終息は見えず、地域経済の回復とつながっている。これ引き続き厳しい財政運営が続く認識と限られた財源で最大の効果を得る経営感覚を持ち、簡素で効率的な行政システムを確立し、町民福祉の向上に資するよう期待する。



代表監査
松本治雄

